

【アメリカ】日米同盟に関する決議案の提出

2019年5月2日、ロバート・メネンデス（Robert Menendez）上院議員（民主党、ニュージャージー州）が、日米同盟に関する上院決議案第183号（S.Res.183）を提出した（共同提出者は共和党2名、民主党3名）。

また、下院でも同じ5月2日に、ホアキン・カストロ（Joaquin Castro）下院議員（民主党、テキサス第20選挙区）が、ほぼ同じ内容の下院決議案第349号（H.Res.349）を提出した（共同提出者は民主党9名、共和党6名）。

両決議案の前文は、インド太平洋及び世界の平和・安定・繁栄に向けて、日米同盟が極めて重要な役割を果たしているとした。加えて自由、民主主義、法の支配、自由市場経済といった共通の価値に両国がコミットしていることを確認し、両国による「過去の克服」と「安全で繁栄した未来に向けた協力」が、日米同盟の強さを証明していると指摘した。

4項目から成る両決議案の本文は、日米同盟の重要性について記している。第1項は、日本との協力を重視してきた米国の従来の方針を、両院が支持することを確認した。第4項は、「新たな令和時代」の世界を脅かす諸課題の解決に向けて、日米両政府が協力を継続させることを求めた。また下院決議案は、日本政府による「令和」の英訳が「美しい調和（beautiful harmony）」であるとも紹介した。

2019年6月12日現在、両決議案は採択に至っていない。

海外立法情報課・西住 祐亮

・ <https://www.congress.gov/116/bills/sres183/BILLS-116sres183is.pdf>

・ <https://www.congress.gov/116/bills/hres349/BILLS-116hres349ih.pdf>

【アメリカ】皇位継承に関する連邦議会調査局報告書

2019年4月29日、連邦議会調査局（Congressional Research Service: CRS）は「日本の新天皇と新たな時代（Japan's New Emperor and New Era）」と題する報告書を公表した。報告書は、冒頭部分で皇位継承の概要を説明した上で、日本社会にとっての皇位継承の重要性、新天皇・新皇后両陛下の略歴、日米関係にとっての令和時代の意味について整理している。

冒頭部分では、日本において皇位継承が、社会・政治的な「時代の節目」と見なされていると指摘し、米国のトランプ（Donald Trump）大統領が、即位後の新天皇に初めて会見する外国要人となること（2019年5月の訪日）などを紹介した。

皇位継承の重要性に関する部分では、天皇制の歴史を振り返り、時代によって天皇の権力が変化してきたとしている。現上皇陛下については、「1989年の即位以来、役割の再定義に努めた。」「困難な状況に置かれた一般国民に寄り添うことで（東日本大震災の被災地訪問など）、国民の団結を促してきたとする見方がある。」と紹介した。また、現上皇陛下の国際的な取組として、米国（1994年、2005年、2009年）と中国（1992年）を訪問したことなどを紹介した。

新天皇・新皇后両陛下の略歴に関する部分では、新天皇陛下が東日本大震災の被災地を頻繁に訪問してきたことや、水問題に関する研究を続け、この問題に関する演説を国連で行ったこと（2013年、2015年）などを紹介した。加えて現在の皇室典範が、「女性の天皇即位を禁止し続けている」ことにも言及している。

日米関係に関する部分では、人口減少・高齢化、膨張する政府債務、台頭する中国、核武装する北朝鮮の問題が、日本社会や日米同盟に変化をもたらす可能性があるとした。加えて、新元号「令和」の日本政府による英訳が「美しい調和（beautiful harmony）」であること、新元号の出典が従来の中国古典ではなく、日本古来の歌集〔万葉集〕であること、新元号について日本国内の一部で批判（右派勢力への配慮を指摘する批判など）があることも紹介した。（〔 〕内は筆者補記）

海外立法情報課・西住 祐亮

・ https://www.everycrsreport.com/files/20190429_IN11109_88fe7e8107284e67e7fd554efdeb38e363cd17f2.pdf

【韓国】韓日議会外交フォーラムの発足

2019年5月24日、韓国国会において「韓日議会外交フォーラム」が発足し、韓日議員連盟前会長の徐清原（ソ・チョンウオン）議員（無所属）が同フォーラムの会長に就任した。同フォーラムのメンバーは15人前後となる見込みである。

韓日議会外交フォーラムの発足は、文喜相（ムン・ヒサン）国会議長が議会外交強化策の一環として打ち出した議会外交フォーラム構想に基づくものであり、同フォーラム発足に先立つ2019年5月2日、国会の内規が改正され、活動支援等に係る根拠規定が整備された。今後、日本を含めた12の国・地域（日本、北朝鮮、中南米、ASEAN、アメリカ、中東、中国、インド等、EU、アフリカ、イギリス等、ロシア等）ごとに同様のフォーラムの設置が予定されている。

文議長は、韓日議会外交フォーラムの発足式において、「韓日関係は非常に重要である」と述べるとともに、「このような場が、韓日関係を早期に修復させるための解決策を模索する場になることを望む」と述べた。なお、文議長は同フォーラムの名誉会長に就任し、日本との議会外交を積極的に支援する計画である。

海外立法情報課・藤原 夏人

・ http://www.assembly.go.kr/assm/memact/chairman/chairman04/bodo/bodoView.do?bbs_num=46698&bbs_id=ANCPUBINFO_03&no=7¤tPage=1&search_key_n=title_v&search_val_v=의회외교&CateGbn=3&Gbntitle=